

## 審議会等会議録

審議会等の名称	令和2年度第1回山口市立図書館協議会
開催日時	令和2年6月4日(木曜日) 10:00~12:00
開催場所	山口情報芸術センター 2階 多目的室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、吉村副会長、中村委員、大野委員、中原委員、原田委員、山本委員、國弘委員、山口委員、井町委員
欠席者	坂田委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館サービス担当副参事、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員の交代について</li> <li>2 令和2年度予算の概要について</li> <li>3 令和元年度山口市立図書館運営状況報告</li> <li>4 各館の令和元年度事業実績及び令和2年度事業予定 (中央、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東)</li> <li>5 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</li> <li>(2) 山口市内読書活動グループ調査「本のなかまたち」について</li> </ol> </li> </ol>
内容	<p>○サービス担当副参事</p> <p>本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>私は、本日の進行を務めます中央図書館副参事の村中です。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、坂田委員さんから欠席のご連絡を受けておりまして、今、大野委員さんの方は確認させていただいておりますが、山口市立図書館条例施行規則24条により委員の過半数の出席がございますので会議は成立しておりますことを報告させていただきます。</p> <p>令和2年度となりまして事務局の異動がございましたことから、改めて、事務局全員を紹介させていただきます。</p> <p>中央図書館 藤井館長。小郡図書館 桶島館長。秋穂図書館 小野館長。阿知須図書館 中原館長。徳地図書館 榎本館長。阿東図書館 上野館長。</p> <p>中央図書館 管理担当主幹。中央図書館 水師サービス担当主幹です。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の資料は、ございますでしょうか。</p> <p>もし、お手元になければ、事務局の方で用意しておりますので、お申し出ください。</p>

よろしいでしょうか。

なお、本日の会議は議事録を作成いたしますことから録音させていただきますので、委員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

それでは、早速ですが、山口市立図書館条例施行規則24条により会長が議長となりますことから、これからの議事進行を会長にお願いいたします。

安光会長よろしくをお願いいたします。

○安光会長

会長の山口県立大学の安光裕子です。

今年度もどうぞよろしくをお願いいたします。私共の県立大図書館はずっと一応開館しております。休館することなく。ただ、学生さんは1カ月くらい休業でしたし、今、対面授業ではなく遠隔授業を始めて、6月15日から対面授業を始めるということで。今、Zoom（ズーム）というものを使いながらですね、わたくし折角慣れたのに対面ですから。なかなか対応が難しいわたくしはですね、Zoomに変える時は「Zoomですか」次は対面になると「対面ですか」ということですね。なかなか今の世の中ついていくのがやっとなという感じです。いろいろな図書館の、いろいろなウィルス対策を参考にさせていただきながら、今、大学図書館もですねそれにならって、どうすれば学生さんとわたくしどもの接点を、うまく利用していただけるのかというところを今模索しているところで、進めている所です。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、令和2年度第1回山口市立図書館協議会を開催いたします。

まず、最初に、議題1「委員の交代について」、事務局から説明をお願いします。

○管理担当主幹

では、説明いたします。本年事務局を務めさせていただきます尾崎と申します。

それでは着座で説明をさせていただきます。

まず、委員のご交代ですが、お渡しした資料を1枚めくっていただきまして、1ページ目をご覧くださいと思います。本年度の協議会委員の皆様方のお名前を名簿に載せさせていただいております。委員の皆様方におかれましては、昨年お願いさせていただきましたように、任期が平成31年4月1日から令和3年3月31日の2年間となっておりますが、市教研学校図書部会からご選出いただいている先生方は1年交代となっております。今年度は、中学校から潟上中の井町先生を新たにお迎えしておりますので、御紹介いたします。

なお、小学校につきましては、現在、新型コロナウイルスの関係もあり、選出の会議を開けない状況にあるというふうにお伺いしております。現在のところ残念ですが未定となっておりますことを申し添えます。決まり次第皆様方にはお知らせをさせていただきたいと思っております。

○井町委員

潟上中学校の井町と申します。よろしくをお願いいたします。

○吉村委員

肩書が教育学部所属ではなくなりました。要するに3月いっぱい定年退職をいたしました。

○管理担当主幹

すみません。名誉教授にご就任されたのですか。

○吉村委員

まあ、そうですね。小さいことですが。

○安光会長

では、それにあわせて、私も学術情報センター所長はカットしていただいて、現在4月1日から図書館長ということで、よろしく願いいたします。

○中村委員

すみません。ついでで申し訳ないんですが、3番、中村も「山口市立図書館」ではなくて「山口市立中央図書館友の会」です。細かいことで申し訳ありません。

○安光会長

そうですね。「友の会」は「中央図書館友の会」と。他にはよろしゅうございますか。

○大野委員

すいません。4番の大野です。私の「映像作家」と書いてありますが、ちょっとおこがましいので頭にアマチュアを入れてください。

○安光会長

お任せします。他はよろしゅうございますでしょうか。何か気になるところとかあれば。よろしいですかね。

それでは、若干ありましたので訂正等お願いいたします。

それでは、これ、もうよろしいですかね。

次に、議題2「令和2年度予算の概要について」、事務局から説明をお願いします。

○管理担当主幹

説明いたします。資料の3ページをお開きいただきたいと思います。

令和2年度につきましては、これまで推進してまいりました、各種事業の中間評価をしていく年にあたります。ちょうど中間年にあたるということでございまして、その結果に基づいて、次年度以降の事業展開を図ってまいりたいと考えております。

重点項目といたしましては、下に3項目ほどあげさせていただいておりますが、徳地図書館のトイレの洋式化工事。これにつきましてはすでに着工、そして完了しております。まちじゅう図書館推進プロジェクト事業の3年目です。それから、保育園・学校図書館への資料等の購入事業、こちらのプロジェクト事業も2年目ということで取り組んでまいりたいと思います。

続きまして4ページ目をご覧くださいと思います。折りたたんでございますが、A3の紙の表をお渡しさせていただいております。昨年度との比較を表の中でお示ししているところですが、昨年度は図書館システム改修を途中10月に各館お休みをさせていただいて、図書館システムの改修を行ったわけですが、このシ

システム改修に多額の予算を要したことから、昨年度比で見ますと予算は減額となっておりますけれども、人件費につきましては、実は制度が変わりまして会計年度任用職員という形で臨時・嘱託職員さんが変わって、新しい制度、地方公務員法の改定に伴って制度改正が行われております。それに伴って、人件費については増額という形になっておりまして、トータルで見ると多額の減額というようには見えませんが、図書館システムのところであるにご理解をいただきたいと思っております。

これは、実は3月にお配りさせていただきました第3回の協議会でご説明をする予定でしたが、すでにご覧はいただいているかとは思いますが、改めてご説明をさせていただきました。以上です。

#### ○安光会長

本来ならば3月あたりにとということではありましたが、今、もう6月に入ってしまったということです。令和2年度の山口市立図書館の予算概要ということですが、このことにつきまして、何かご覧になってお気づきのこととかございますでしょうか。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

令和2年度は決まっていますので、これが少ない・多い、とかは難しいと思えます。また、後ほど何かありましたら伺います。

それでは次にまいります。議題3「令和元年度山口市立図書館運営状況報告」について、事務局から説明をお願いします。

#### ○管理担当主幹

では、説明いたします。資料につきましてはお手元の資料5ページから9ページ目までが説明の資料にあたります。まず9ページですが、これもA3の大きいものですが、こちらにつきましてはこの報告と重複する部分が多くございますので、またお帰りになられてゆっくりお読みをいただいたらと思っております。

まずは、I 令和元年度の運営状況につきましてご報告をさせていただきます。

5ページ目を開いていただきたいと思っております。令和元年度の概況についてです。

「第三次山口市立図書館サービス計画」こちらの5年計画の2年目にあたります。

この中で「まちじゅう読書推進プロジェクト事業」として、カフェ等の11店舗へ毎月図書50冊毎デリバリーをしながら、まちじゅう図書館の活動の推進をしているところです。

2番目としまして「第三次子ども読書活動推進計画」です。こちら5ヶ年計画の2年目ということです。

3番目に山口市立図書館全館で同日イベントとして、こどもワイワイ図書館を昨年のお話ですが、4月28日に実施させていただきました。昨年の子どもワイワイ図書館参加者数は3,149人という多数の参加をいただいたということです。

4番目に図書館システムを更新させていただきました。Windows7というパソコンのOSサポート終了に伴いまして、図書館システムのハードウェア更新を10月に行わせていただきました。

続きまして5番目です。移動図書館の北部地域でのサービス充実ということでご

ざいまして、昨年度、移動図書館を阿東図書館に1台更新したものを配置させていただきました。徳地地域・阿東地域を巡回するサービスを充実させていただきましたところ。

続きまして、6番目、徳地地域への分館配送の開始です。これまでは行っておりませんでした、徳地地域の交流センター分館への配本を開始させていただきました。これが大まかな概況ということです。

続きまして、館別の状況につきましては後ほど各館長からそれぞれ説明させます。

5ページの1番下、Ⅲ事務事業の概況です。図書館事業につきましては7事業ほどございます。

まず1つ目が、①「図書館管理運営業務」です。こちらにつきましては皆様方に、今、ご参加をさせていただいております、図書館協議会（後ろの展開を考えるとですが、通常3回の開催をさせていただくことにしておりましたが、コロナウィルスの感染拡大防止のために第3回目を中止させていただきました。昨年度は2回の開催ということになったところ。今、6ページ目の方に入りました。

続きまして2番目6ページの上から5行目の②図書館のシステムハードウェア更新です。こちらにつきましては10月に全館を休館して、システム更新を行いました。また、これまでですね日本十進分類法によって徳地は8版制、中央他4館は9版を採用しておりましたが、システムの更新に合わせて全て10版の適用ということで、市内全館10版の適用になっておることです。

続きまして、3番目③まちじゅう図書館事業の推進です。30年度から試行してまいりましたが、9月にパートナー事業者の公募を実施させていただきました。10月から正式にスタート。12月には追加公募を実施して、現在11事業者の方々になっているところです。サテライトライブラリー利用状況につきましては、毎月5～60冊の本を中央図書館から配本させていただきまして、7月の事業者アンケートによりますと1店舗あたり月130人ぐらいのご利用があるというふうにお伺いしているところです。また、パートナー事業者による図書館イベントの開催を9事業ほど開催しております。パートナー事業者さんに中央図書館の方においでいただいて、それぞれ各種図書館利用者の方とのふれあいの事業といえますか、そういったようなものも開催しています。まちじゅう図書館で飲食等をして、しおりをもらって中也記念館に入館をすると、ポストカードがもらえるというコラボ事業も、昨年度は実施をしたところ。ポストカードの引換数は145枚となっています。またあわせてまちじゅう図書館設置店マップを3月に作成して、市内各所にお配りしておることです。

続きまして、④連携中央連携中核都市における事業の推進です。こちらにつきましては山口県中央連携中核都市構成する7市町の17図書館が参加する図書館スタンプラリーを開催いたしました。10月12日から1月19日まででございます。多数のご参加をいただいたところ。

続いて、大きい2番目です。「2. 移動図書館管理運営業務」についてです。移動

図書館車1台を7月に更新いたしまして、阿東図書館を拠点に徳地・阿東地域の配  
配本・移動図書館サービスを実施しました。北部サービスステーション数を13か  
所から18か所に増やしたところです。

利用状況を見ますと、貸出冊数が29,749冊、利用者数が10,145人、  
ということで前年比で見ますと利用者は909人の減という形になっております。  
また、貸出冊数につきましても1,948冊の減になっております。1人あたりの  
貸出冊数は2.86冊から2.93冊になっておりまして、わずかに増となっております。

3番目の「3. 図書館資料整備事業」につきましてです。各館で選書を行い、選  
書委員会で受入れ資料の決定をしております。また、除籍検討委員会を毎月開催さ  
せていただきまして、除籍に積極的に取り組んでおります。購入点数・寄贈点数・  
除籍点数については、ご覧いただいたとおりでして、それぞれ昨年度比から見ます  
と、少し減というかたちです。

4番目の「4. 学校図書館支援サービス推進事業」についてです。①市内の小中  
学校を訪問して直接支援をさせていただくとともに、保育園への配送も開始いたし  
ました。7ページ目をご覧いただきたいと思います。団体貸出数や学校配送用資料  
購入数等々の数字でございまして、団体貸出数についてはやはりコロナの影響もあ  
って減となっております。資料購入数につきましては、わずかながらありますが増と  
いうかたちです。

2番目としまして、②学校からの要請に応じて、出張ブックトークを実施したと  
ころです。小中学校で5校、延べ5回1,381人の参加を得られております。前  
年度比で見ますと少し減というかたちです。

3番目といたしまして、③職場体験やインターンシップの受け入れも例年通り、  
行わせていただきました。職場体験、延べ18回28人、インターンシップ、5  
回10人。前年度比、わずかながらですが増ということです。

4番目としまして、④学校司書研修会への参加です。学校図書館支援スタッフが  
企画した研修会を年に1回実施をしたところです。学校図書館の児童生徒一人当  
り貸出冊数35冊ということで、先日、学校教育課より報告がございましたが、や  
はり昨年度よりは少し減という数値となっております。

5番目の、「5. ブックスタート推進事業」についてです。新型コロナ感染拡大防  
止のため、3月実施予定であった体験会を、すべて延期させていただいたために、  
3月対象者を除いた人数で実績を算出しております。3月の対象者は今年度の実績  
には入れておりません。その数字とさせていただきたいと思っております。

ブックスタート体験会開催数につきましては、延べ101回開催いたしまして、  
参加率は68.9%。前年度比は参加率2.7ポイントの減となっております。②ブ  
ックスタート推進委員会の開催を、昨年5月30日(木)実施したところござい  
まして、③ブックスタート体験会に参加できなかった方のうち希望者への郵送を引  
き続き実施しておりまして、郵送数は100冊。ブックスタートパック贈呈率は8

5.8%ということで、贈呈率もポイントも、増減なしというかたちになっております。

6番目の「6. 子ども読書活動推進事業」につきましては、以下の3つの事業を実施したところでです。

それから7番目です。7ページの下ほどですね。「7. 図書館活用推進事業」についてです。こちらについてはですね、ずらずらっと事業を行ったものを書いておりますが、またご覧をいただきたいと思っております。

最後になりますが、「他機関等との連携」についてです。8ページをご覧いただきたいと思っております。①山口大学図書館・山口県立大学図書館・山口学芸大学・山口芸術短期大学図書館との図書相互返却を行っています。市立図書館の本を大学図書館で返却をしていただいたのが、計2,809冊大学図書館の本を市立図書館で返却をいただいたのが43冊ということで、どちらとも増加傾向にあるということです。

2番目として②阿東地域の分館配送についてです。阿東地域の地域交流センター4分館への配本につきましては、貸出が139冊、返却が232冊ということで、前年度比わずかではございますが、増というかたちです。それから、昨年度開始をいたしました。③徳地地域の分館配送についてですが、徳地地域の地域交流センター4分館への配本初めて昨年行いましたが、貸出が1冊、返却が17冊ということで、まだまだ利用が少ないという状況です。周知を含めて対応を今後も進めてまいります。

以上、大変足早ではございましたが、令和元年度山口市立図書館の運営状況の御報告です。以上です。

○安光会長

ありがとうございました。「令和元年度山口市立図書館の運営状況」ということでございます。次が「事業実績および令和2年度事業予定」のとなりますので、また各館には次に具体的にご説明いただきますけれども、まずは5, 6, 7, 8ページをご覧いただきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

○中原委員

6ページですけれども、Ⅲ「事務事業別概況」の1の③のサテライトライブラリーのところで、アンケートをおこなったというふうに書いてあります。事業者さんからどのような意見とか感想があったというのを、分かれば教えていただけないかと思っております。

○安光会長

アンケートの結果ですね。人数は今、教えていただけましたので分かりましたけれども、お願いいたします。

○中央図書館長

アンケートは、今、人数のことを言われましたけれども、だいたいどのくらい利用があったかというのが、まずそういうアンケートをしてこの数字がでました。こちらが数を数えたわけではなく、事業者さんが自分たちの認識の中でこれだけやっ

たという訳です。本を読んで図書館の本がここにあるということを目的としているんですが、「ここにこのような本があるぞ」と喜ばれている方が数多くあったと。おおむね好評をいただいております。中には、事業者の方で、本来ならばこちらが本を届けた相手に関しては図書館内でワークショップとかを、実施していただくということをお願いしていたんですけども、それができなかった事業者もございまして、そういう方は次の更新の時に辞退されたということもあります。そのワークショップをやったことによってどういう波及効果が来たか、そういうこともですね聞いておまして、これもおおむね好評だということでございまして、かいつまんで自画自賛するわけではないんですけど、概ね好評ということで、アンケート結果的にはそういうふうにいただいております。

○安光会長

日にちは忘れてしまいましたが、コーヒーボーイさんが花陰さんと、コラボ企画があるということですので、それを楽しみにしております。

○中央図書館長

6月の20日と7月に2回、また行います。ただ、今回コロナの状況の中では、次の日にできなくなっても、すぐに電話をかけて中止がすぐできるような、そういうワークショップを行っております。突然中止になっても問題がないようなワークショップというかたちを取らせていただいております。

○安光会長

予約の状況などはどうでしょう。

○中央図書館長

今回、なぜか出足が悪いです。

○安光会長

悪いですか。でも、楽しそうですよね。花陰さん、アクセサリーを作るとか、コーヒーのいろんな器材というか。面白そうですけども、まだコロナで体が動きづらいかもしれません。

○中央図書館長

例年だったら、2日3日でもうすぐいっぱいになるようなことが、今回まだ余裕があります。

○安光会長

他に何かご質問はありますか。

○安光会長

少し良いでしょうか。4番の小中学校を訪問して直接支援というのは、誰に支援を行うのでしょうか。学校司書に支援ですか、それとも子どもたちに対する何かでしょうか。保育園へ本を配送とは、これは団体貸出のことですか。シーンが具体的に分からないですけれども、お願いいたします。

○中央図書館長

山口市内に51程小中学校ございますけれど、それぞれ図書館司書というのを置

くんですけれども、この図書館司書が2、3校を掛け持っているのが今の現状でございます。また、学校には図書館を管理する先生がいらっしゃいますので、その方たちがいろいろと掛け持ちしたりとかありますので、むしろどういうふうの本を並べたらいいとか、どういうふうな分類の仕方がいいとか、まだちょっとよくつかめないという方もいらっしゃいますし、まあ中にはよく分かっていらっしゃる方もいるんですけど、そういうことに関しまして、平成の20年までは、モデル校を2校指定しておいて、そこに行っておいてある程度どういう問題が学校にはあるのかを吸い上げて、それを平成29年まで行いまして、平成30年にモデル校を引き上げて司書を個に配置いたしまして、その学校であった問題点を洗い出して今度はその問題点を各51校の方に研修するといいますか。去年あったのが、この1回目の研修っていうのを、研修したっていうのが、先ほどご説明の方にあつたと思いますけど、そういう形で研修会をやったり、1学期に1回はですね、こちらの方から、臨時・嘱託の職員が、学校の方に行きまして、一応こういうふうなアドバイス、をするような形を取らせていただいているのが今の現状です。

○安光会長

これには冊数しかかいていないので、配本のことばかりかと思いましたが、もう1行何かあれば、支援の意味が分かったかなと思ったんです。せっかく良い試みをされているのにと考えたことと、あと、もう一つごめんなさい。他機関との連携ということで、8ページなんですけれども、これを入れるべきかどうかはご検討いただきたいんですけれども、ここのところ図書館実習ということで、学生さんがお世話になっておまして、今年度も是非とも思っているんですが、これも他機関との連携かなと思いますが、いかがでしょうか。

○管理担当主幹

今、実は、先生のところのお子様方も含めてですね、えーと、これは資料の中でのですね、数字としてはですね入れさせていただいております。

○安光会長

まあ、うちだけではなくて他大学もあるかもしれないので、インターンシップの…

○管理担当主幹

インターンシップの人数には入れさせていただいております。職場体験と…

○安光会長

え、ちょっと別物なので、インターンシップと図書館…

○管理担当主幹

いや、確かインターンシップではなかったと思います。

○安光会長

はい。ですから、いずれはまた山大の方からも。とかいろいろあるかと思いますが、他機関なのかちょっと分かりませんが、実績としては揚げていらっしゃる方がいかなと思います。大変ご迷惑をおかけしているところではあります

けれども。

他によろしいでしょうか。それでは、また何かありましたら、お願いいたします。

次に、議題4の「各館の令和元年度事業実績及び令和2年度事業予定」について、会議の時間の都合もありますので、このA3のプリントを見ながらお話を伺えばよろしいでしょうか。各館の特徴的な事業を、かいつまんで、大変申し訳ないんですけど、手みぢかに、報告してください。それについてまた私共から質問などをさせていただきたいと思います。

それでは、中央図書館からお願いします。

○中央図書館長

それでは、簡単にかいつまんでご説明いたします。まず、9ページでございますが、全体としては先程のプロジェクトをやっております、中央図書館におきましては、おはなし会、ぴよぴよおはなし会とかそういうものはメモにかいてあるんですが、これはどこの館もですね、ある程度いらっしゃると思いますけれど、中央図書館の色としましては、その後の行事が、大変いささか多いようです。この行事が多いのは、先ほど説明をさせていただいた「まちじゅう読書」のプロジェクトの中で、本を配本した事業者さんがワークショップをやっていただく、というのがだいたい月1回か2回ほどやったりしています。ただ、年末の2月3月あたりはちょっと滞ってしまったんですけども、このようなことがありますので、この行事が非常に多いようでございます。中央図書館の色としましては、この「まちじゅう図書館」というのがですね、特色と言えます。

それとですね、このまえのリニューアルに伴って、ちょうど今、ぐにゃあっとした机（交流スペース）があると思いますけれども、そこを利用したですねワークショップとかですね、それとかですね1番奥にあります共同利用スペース、1番奥に3部屋あったのを1部屋にリニューアルしたんですけど、ここでもワークショップとかやっております、図書館事業としては中でケーキを作ったりとかしてビーズを作ったり、アクセサリを作ったりとかですね、そのような形でですね行事が多いので、そのへんが中央図書館のまあ色だろうと思います。

ちょっと1枚めくっていただけたらと思うんですけど、非常に対前年度のマイナスが目立っております、これはあの分析しなくてはと思っておりますが、前々年がリニューアルで43営業日ほど、中央図書館開いていなかった。今年のシステムの更新で9営業日、コロナの影響で20営業日ほど休館となっておりますので、極端なことを言うと一昨年の方が営業日が多くて、コロナの影響ではないというのがございますけれども、ちょうど真ん中の辺りに開館日数というところがあると思うんですけども、そこが中央図書館の場合12となっております、会館日数は実質的には増えている。なのに、対前年度比がマイナスになっているのは、おおまかに見ると恐らくリニューアルの時は臨時窓口はずーっとやってたんです。ところが、コロナの時には全く閉館という形をとっておりますので、その影響でこうなっているのかなと分析しております。だから他館と比べて、例えば中央図書館の貸

出点数というのが1.7というかたちですね、思ったほどは減ってないなど。おそらく臨時窓口のやり方の影響だろうと思います。ちなみに、その裏側の方もひたすらマイナスが多いようでございますけれども。

○安光会長

皆さんの、これはちゃんとしたものが届いていますか。

○管理担当主幹

はい。

○安光会長

だそうです。このこちらの紙が、新しいのが手元にあるようですから。皆さんのこれがこれだ、ということですね。

○中央図書館長

対前年比較も、軒並みマイナスになっている。これは分析していかないといけないと思っております。それから令和元年の取組みが、元に戻っていただいて、1番最後のページでございますが。

○安光会長

1番最後ですね。A4の紙ですか。

○中央図書館長

はい。こちらのレジュメの方の1番最後です。これは全部読むと時間がかかりますので、主な取組みとしては、元年はこのようなことございました。令和2年におきましても、だいたい前年度と同じ様なことになろうかと思うんですけど、ただ大きな行事がですね、今、できないような状態になっておりますので、歴史講座というのが3月の22日だったかな、行おうと思ったんですが、これができなかったんですけど、今年もそれができるかできないかというのがあります。それと、薩長同盟というのがありますが、この企画は人気があるんですけど、これもなかなか推進が難しいんじゃないかという。相手もありますから。そういうかたちで今年度の取組みというかたちになりますので、よろしく願います。

○安光会長

ありがとうございました。

それでは、小郡ですがA3からが良いですか。A4の今のでいいですか。

○小郡図書館館長

はい。A4刷りで願います。具体的に…

○安光会長

では、1番最後のページのA4でいきましょう。小郡ということをお願いいたします。

○小郡図書館館長

小郡図書館でございます。よろしく願います。12ページのA4の資料で説明をしたいと思っております。

まず①の「入館者150万人達成が見込まれ、さらなる利用者層の拡大と施設の

充実を図る」ということで、去年の9月25日にめでたく入館者数150万人を達成しました。小郡図書館は平成20年に開館しまして、100万人を達成したのが27年でございます、それから3年後の30年に150万人ということで、順調に伸びているのではないかと思います。ただ、この4月、コロナの影響で伸び悩みましたが、200万人、300万人めざして、精進しているところでございます。達成当日は職員が手作りで、くす玉とか垂れ幕とか作りまして、そして報道機関の方も来ていただきまして、写真など撮っていただいて、ちょっと盛り上がったところでございます。チョコボ（・）の2番目で「小郡図書館友の会鉢の子」と連携し、イベントの実施・充実を図る」ということですが、これは例年のことなんですけれども。今年度は特に、小郡ゆかりの葛原猪平（くずはらいへい）さんという方を鉢の子が発掘いたしました。その方は、日本で初めて冷凍技術、冷蔵庫を作られて、その工場を東北の気仙沼市に作られまして、現地に葛原猪平が小郡出身であると書かれた碑が立ってます。そのようなことで図書館も、猪平さんの資料とか集めまして、このイベントを開催させていただいたところでございます。今後も、地域に、ゆかりのある人を紹介していきたいと思っております。

2番目の「②他機関（小郡文化資料館）との連携」ですが、今年は文化資料館がリニューアルいたしまして、記念行事として山頭火展を企画しておられて、こちらでもコラボをと計画をしましたが、コロナの関係でかなり縮小しました。しかし、図書館の方にも寄っていただくために、山頭火に関する資料等またリスト等を文化資料館に配布いたしまして、協力させていただきました。

今年度の取り組みですが、利用者層の拡大は毎年頑張っていこうと思っておりますが、「図書館友の会鉢の子」と連携し、イベントの実施・充実を図る、ということで今年は12月に小郡は鉄道のまち、鉄道とともに発展したまちということで、タイトルも「鉄道サミット」ということで、新山口駅も巻き込んで、イベントの開催を計画しているところでございます。これも鉢の子さん達と、一緒にやっていくところでございます。「子どもの読書活動の推進」も拡大していこうと思っております。他機関との連携強化も、文化資料館はじめ公民問わず、盛り上げていこうと思っております。

それと、チョコボ（・）の2番目で「保健センター主催マタニティサロンへの協力」ということですが、子どもさんが、図書館に出会うのが生まれて6カ月後のブックスタートからなんですけれども、それよりも早く、お母さんのお腹の中にいる時から、図書館を知ってもらおうということで、保健センターでマタニティサロンを通じて情報交換を図って図書館を盛り上げて、利用者の拡大をしていこうということでございます。

最後に、資料整備は例年のことで、積極的な閉架書庫への棚移動ということで、閉架書庫を見やすいように、利用者さんに手に取っていただけるように、古い本とかは、積極的に、閉架の方に持っていきと、そして空いた書庫を利用者さんに見やすく気軽に本を手にとりいただくよう心がけております。以上でございます。

○安光会長

ありがとうございました。それでは引き続きまして、秋穂図書館お願いいたします。

○秋穂図書館館長

秋穂図書館の小野でございます。私はこの4月から館長として秋穂図書館に、まだ2カ月近くしか図書館の経験がございません。ここにいらっしゃいます、原田委員さんと一緒に秋穂図書館を盛り上げていきたいなというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

まずは、元年度の状況でございますけれども、秋穂図書館におきましては5ページにもご紹介させていただいておりますとおり、「多様なニーズに対応する読書環境づくりとして、企画展示の充実および講演、講座等を積極的に開催した。また、子ども対象の講座や上映会等の活動を推進した。」とところでございます。

この活動の内容の具体的なものにつきましては、9ページのA3サイズの秋穂図書館の方に記載されておりますので割愛をさせていただきたいと思っております。

続きまして、令和2年度の主な取組み予定ということでございますけれども、これにつきましては12ページのA4サイズの秋穂図書館のところを見ていただいたらと思っております。ご案内の通り、現在の新型コロナの影響で閉館といえますか、臨時休館が続いておりました。4月5月、私が参りましてから、予定しておりました主な企画は全部中止もしくは順延という形で、大変残念な状況になっておるところでございます。秋穂図書館におきましては今から状況にもよりますけれども、このまま開館の状況が続いていかれるのであれば、ここに記載しております事業をどんどん実施してまいりたいというふうに思っております。特に、秋穂図書館につきましては、本年度開館10周年記念ということでございますので、コロナの状況もございまして、大きな祭りといった形は難しいのかな、とは思いつつ開館10周年記念企画という形の中で、いろいろな図書館開館前はどのような図書活動が秋穂地区でなされていたのかと、そういった写真とか資料とか、をまず提供してこれを継続して続けていってはどうだろうか、今、原田先生と話しはさせていただいております。単に10周年記念という単年度的な事業ではなくて、これからの10周年に向けた企画物として、毎年度、毎年度、何か皆さんの意識に残るような企画を実施していきたいな、というふうに思っております。

それともう一つ大きな項目といたしましては、入館者が50万人にもうすぐ達するというところでございますが、今、ちょうど新型コロナの関係で入館者数もちょうとまだ抑え気味の所がございまして、通常の前定でしたらちょうど今頃6月あたりには、50万人には達している形の前定ではあったんですけども、それが先延ばしになっているという状況下でございます。また、その時点が参りましたら、報道機関さん等を含め、ささやかな企画をしていきたいなというふうに思っております。併せまして、例年と同じような形でまず「子どもさんの読書活動の推進」という形の中で、学校さんとの連携もどんどん推進していきたいと思っておりますし、

それぞれの図書館も同じでございましょうけれども、未就学児童への読み聞かせ・上映会等もどんどん推進していきたいと思っております。

最後には3番のところに「図書館協力団体との連携強化」とありますけれども、もうすでに私が2カ月間、図書館に勤務しています中で、関係機関、原田先生をはじめにいろんな方々とお話する機会がございまして、すでに連携強化はできているんだなあ、と思っているところでございます。そうすると何をしていくかという、今度は住民の方々、図書館を利用される方々と、コロナなので密は禁句ですけども、図書館利用というかたちの中で密に関係を図っていききたいな、と思っております。

なにぶん、まだ図書館勤務2カ月ということで、今からどんどん図書館に対する思いを深めて参りたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○安光会長

それでは、阿知須図書館よろしく願いいたします。

○阿知須図書館館長

阿知須図書館の中原です。資料があります。A3の先ほど先生が言われた分で、記載しています、阿知須図書館の取り組みついて、資料の9ページでございまして、9ページと10ページを使って簡単に説明させてもらおうと思います。

9ページ、大きな方で進めます。「子ども読書活動推進事業」につきましては、好きな絵の展示を7、8月約2カ月間に渡りまして、展示をしています。

それと、ボランティアさんによります、「おはなしきらきらのおはなし会」、毎月第3土曜日に行っておりまして、89人の方の参加を集めております。また、きらきらさんの夏休みスペシャルとしまして、阿知須の児童クラブでは3回のお話し会を開催いたしまして、合計で146人の子どもたちを集めています。加えて図書館の司書によりまして、「あじす保育園読み聞かせ」をおこない、40人の参加をいただいております。

それと、「子ども向けのDVD上映会」を4月の子ども読書週間、夏休み期間、きらら館まつり、クリスマス時期、春休み期間に1年間を通じて15回行っておりまして299人の子どもたちを集めております。

夏休みには、学校連絡会議を開催いたしまして、阿知須地域の小中学校の図書館の先生方との情報交換をしっかりと行うことによりまして、図書館で充実してほしい蔵書の要望を聞くなど、綿密に連携を取ることで、学校図書館の支援体制強化を図っております。

行事によりましては、「きらら館まつり」で772人、「こどもワイワイ図書館」では538人を集めておりますけれども、7月には「七夕かざり」ということで館内に笹を立てまして、子どもたちに願い事を書いていただいた短冊を218枚集めまして、これを七夕かざりといたしております。9月～11月にかけては、「おすすめの本を教えてください」という行事を行っておりまして、113名の参加をいただいております。

主な事業は以上でございまして、今度は12ページでございまして。令和2年度の主な取組み予定の説明でございまして。阿知須図書館では3本柱で運営してるんですけども。

1つ目の利用しやすい環境づくりといたしましては、地域の方々に親しまれる地域館ならではの取組みとして、親切、ていねいな接客対応ということをこころがけまして、利用者の方が自分のサードプレイスとして、図書館を快適に利用していただけるような環境づくり、雰囲気づくり接客対応、職員みんなでこころがけて取り組んでおります。資料展示コーナーを大人・子ども向けコーナーと設置して、毎月設置しているんですけども、本年度も利用者に興味を持っていただけるテーマを探しまして、充実させてまいります。また、どこの図書館も除籍が課題となっていると思うんですけども、阿知須図書館も旧阿知須町公民館時代の蔵書が結構ありまして、内容が古くて誤った情報を伝えるような本、保存が困難な本を中心に除籍を積極的に行いまして、精選の蔵書が並んだ魅力的な書庫を保つように、除籍に取り組んでまいります。

2つ目といたしましては、新たな利用者の拡大促進でございまして、阿知須地域は結構使っていただけるんですけども、佐山地域に隣接してるんですけども結構利用者が少ないということで、交流センターに図書館だより等置きまして、また阿知須図書館を使っただけのように情報発信に努めてまいります。

また、今年の秋の図書館まつりですけども、手づくりの参加型企画を計画いたしまして、市民に興味を持っていただける内容とし、地域つくりにつなげていこうと計画いたしております。

それから、阿知須図書館では一般市民に親しみをもって来館していただけるように、展示ロビーを開放してきておりますけれども、今年度も絵画展や写真展等、いろいろな展示を行っていただきまして、幅広く多くの方に来館していただけるような積極的な活用を行ってまいります。

3つ目の学校等との連携強化でございまして、地元の小中学校の図書先生方との情報交換に努めまして、より一層図書館を利用いただけるように図書館への要望を聞くなど、連携を強めることで子ども読書活動推進に取り組んでまいります。また、これは地元の阿知須保育園との連携となりますけれども、昨年度に引き続き今年度も、子どもたちに積極的に図書館の本を借りてもらうために、年長さんを中心に園を通して利用カードを作ってもらう取組みもございまして、園児の利用を促進したいと考えております。以上3つのメインテーマを主な取組みとして今年努力していこうと思っております。

○安光会長

ありがとうございます。それでは、徳地図書館よろしく申し上げます。

○徳地図書館館長

徳地図書館棟本でございまして。私も4月からの勤務でございまして。どうぞ、よろしく願います。

まず、資料は9ページをご覧いただきたいと思います。行事のところでございますが、まず、図書館まつりを11月に実施をいたしまして、1,515人の方にご参加をいただいております。徳地地域の人口に対しては結構多くの方に、集まっていたのかなというふうに思っております。

次にこどもワイワイ図書館でございますが、主に小学生を対象に図書館でゲーム等を行いまして、まずは図書館に馴染んでいただこうということで開催をしております。118名の参加を得ております。

次に、ブックリンピックでございますが、これも小学生を対象に4月23日から5月末まで、本を1冊借りるごとにスタンプを1つ押して、30個溜まった時には景品を贈呈するというので読書の推進を図ったところでございます。そのほか、歴史講座をそちらにありますように、5月、6月、9月に2回、11月、と5回の講座を開催しました。これも、できるだけ図書館に足を運んでいただこうということで実施をしております。主だったものは以上でございます。

次に12ページをご覧いただきたいと思います。令和2年度の主な取組みでございますが、1番目の図書館利用促進のためのイベント開催ということで、令和2年度におきましても、地元の方に協力をいただきまして、引き続き歴史講座を開催する予定でございます。それから、東大寺サミットに関連して、イベントを考えておりますけれども、新型コロナの関係でこれは翌年度に延期になるのではないかとというよううわさもでております。

2番目の子どもの読書活動につきましても、令和元年度と同様に「ブックリンピック」「図書館たんけん隊」「ブックスタート体験会」の実施を予定しております。

3番目が新規でございますが、地域の情報発信ということで、地域の方々から「文化や食」についての、パンフレットや本を提供いただいておりますけれども、それを地元の方を中心に広く情報発信をしていけたらと、そういうふうに思っております。徳地地域の情報コーナーを設置しようと、今、検討しております。最後に、これは直接関係ありませんけれども、新型コロナウイルスの感染防止対策もしっかりやっていこうということで、項目に挙げております。以上でございます。

○安光会長

ありがとうございました。それでは、最後になりましたが、阿東図書館お願いいたします。

○阿東図書館館長

阿東図書館、上野です。よろしく願いいたします。

元年度の実績につきましては、A3の9ページをお願いいたします。阿東図書館ですが、移動図書館のブルー号が阿東の方へ配属されまして、7月から阿東徳地地域の現在18か所の北部サービスステーションへの移動図書館サービスを開始いたしました。1ステーション1回あたりの貸し出し冊数を見ます20人超えるところもあるんですけど、2人3人と少ないところもあるのが現状でございます。

あと、イベントでございますが、「図書館まつり」を8月4日に実施をいたしまし

た。この「図書館まつり」で今年初めて地域交流センターとの共催で、その中の1つなんですが「種だんごをつくろう」という教室を実施いたしました。大人も子どもも泥だんごを楽しそうに作って、それに種を植えて帰られました。後日、花が咲いたよという方もいらっしゃいましたので、大変うれしく思っております。

ワイワイこども図書館の方は509人ということでこれにつきましては、隣の津和野から来られた子どもさんが多かったように思います。工作教室は例年通り2回実施いたしましたが、人数は少ないですが、例年通りくらいの参加者でございました。

DVD上映会につきましては、新型コロナのため1回中止をいたしました。子ども向けを5回と、大人向けを3回、それで48人と46人ということなんですが、来場数あまり多くないんですが、図書館でDVD上映会やってるよということが、定着するように今後も続けていく予定でございます。

その他といたしまして、昨年廃校になった学校から子どもさんが使われていた机を10台ほどいただいて、そこに本を平置きして並べています。そうするとやっぱり平置きすると、目によくとまるみたいでそこから本を借りていく方が多くいたと思います。実績は以上です。

次の2年度の取組みですが、これは12ページをお願いいたします。①の利用促進でございますが、まあ新型コロナということで難しいところもあるんですけど、地域交流センターとの連携ということで、昨年初めて共催しましたので、今年も共催事業を実施をさせていただきたいと思っております。さらに、交流センターの事業の方へ出向きまして図書館の方の案内なり展示ができたらと思っております。

もう1つは「ぶっくん」を利用したイベントということですが、外続きで図書館、交流センター併設の建物ですが、中庭に「ぶっくん」を持ってきて、椅子テーブルを置いてそこでゆっくり本を見ていただくようなイベントができたらと思っております。そのほかDVD上映会、工作教室も例年通りに実施していきたいと思っております。

次の、②の各分館の配送サービスでございますけど、実績等、先ほどもありましたが、阿東地域の方は前年度より若干増加しています。しかし昨年7月から同様のサービスを開始した徳地地域の分館での利用は、非常に少ないのが現状です。周知不足もあるかと思しますので、今後も配本サービスを周知していきたいと思っております。

3番目の移動図書館の周知ですが、先ほどもありましたように、非常に利用が少ないステーションとまあまあステーションがあるのが現状です。ステーションの場所の変更を含めまして、移動図書館の周知をしていきたいと思っております。

以上でございます。

○安光会長

ありがとうございました。今ですね、全体のお話、それから、あとのそれぞれの6館の令和元年度の主な取組みと、令和2年度の取組みの予定ということで。令和

2年度は、せっかくいろいろと企画されていても、最初のワイワイ図書館が4月がなかったんじゃないかと思えますけれども、これにつきまして何かご質問はありますでしょうか。

○中村委員

質問が1つと、感想が1つあります。質問は、12ページの中央図書館の令和2年度の主な取組みの中に、3番目に蔵書の充実に向けた取組みの強化というふうにあるんですけども、これが今年度何かとりたてて新しく何かするということかどうかということをおたずねしたい。

感想としては、先ほど各館長さんから説明があった中で、徳地図書館で3番目に地域の情報発信ということが、今年度の主な取組みにあげてあるんですけど、10年くらい前に徳地図書館に見学に行った時に、入って直ぐの左側のパネルに、地域に関する新聞の切り抜きとかがたくさん貼ってあって、なんかこの図書館はものすごく地域を大事にしている図書館なんだなあ、という気持ちが届いてきました。これは、あの、各館の事情があるとは思いますが、他の館でも参考になるところを取り入れていただけると、地域の人にとっても親しいイメージを持っていただけるんじゃないかなあ、というふうに思いました。

○安光会長

ありがとうございます。最初の質問の中央図書館の蔵書の充実の取組みの強化ということで、特別に出されているのでそれはどうしてでしょうか。

○中央図書館館長

これは、文脈にすると当たり前のことなんですけども。特に、今年ですね、昨年から引き続きということもあるんですけども、コロナの関係で休館がすごい続いたわけです。その時に臨時の人たちに協力していただいて、今、図書館はどちらかというと、入ってくる本と出ていく本がちょっとアンバランスがございまして、どんどん本が溜まってきている状態で、ただ、要するに廃棄が追い付いていない状態とかありますので、とりあえず情報の古いものとか、そういうのは廃棄して。そして新しい、血の入れ換えといいますか、そういうものやっぴいこうということで、昨年度末から今年度のコロナ期間に関しまして、そういうことが多いにありまして、廃棄の数がかなり出ております。これがですね、今年度の主な充実に向けての取組みだと捉えていただければと思います。

○安光会長

私はもしかしたら、2つ目の感想と関わって、地域資料の充実というところを、おっしゃるのかなと勝手に思っていました。

○中央図書館館長

地域資料は、例年通りです。

○安光会長

いえ、例年通りですけども、今の感想と同じで、自分たちから進んで声を出していかなければ、なかなか集まらないものもあるので、市販のもので無いものなど

もたくさんあるので、そのことかなと、私、勝手に思っていました。

○中央図書館長

というか、それを言おうと思ったんですけども。

○安光会長

失礼しました。せっかちですから。

○中央図書館長

いえ、言おうと思ったんですけど、これって答えがおそらく、そういうのを言うだろうなって、おそらく察しがつくような答えでは、面白くないので。

○安光会長

ごめんなさい。察しつかないです。やっぱり、言ってもらった方が、私共は安心します。

○中央図書館長

目新しいことをですね、今は言わせていただきました。地域資料の方も力を入れて集めております。確かに、山口維新の地域資料に関しましては、広島が集めてくれるわけないし、福岡が集めてくれるわけないんで。要するに、近隣が集めてくれるわけないんで、その方に関しましては重点的に取り組んでいるのが現状でございます。

○安光会長

失礼いたしました。

私が質問をしてはと思うんですが、今ので、例えば行政資料というようなかたちで、地域資料はどう捉えるかってあると思うんですけども。これも、いながらにしては集まらないものであって、各部署に働きかけはされてるんでしょうか。

○中央図書館長

最近ですね、交流センターの建て替えがすごく多いんです。そういうところを建て替える時に必ず行ってですね、物色しております。その中で、「あ、これは、いいな。」と思ったら、その関係機関にこれのバックナンバーないですか、とかそういう形でやっていっています。まあ、なかなか無いのがありますが。この前も阿知須が最近建て替わったんですけど、阿知須の倉庫にありました歴代の広報誌とか議会だよりをみんな引き上げてきたりとかして。そういうこともしております。ちょっとアンテナを立てて、要は「あそこで地域資料が出そうだと、というところに関しましてはそういう形で、行って集めてそれから波及効果でこういうのもあったんだ、というのが分かったというのがあります。

○安光会長

いろいろ活動されてるんですね。各館の地域の交流センター等々あるかと思しますので、よろしくお願いします。

他に何かご質問等ございますでしょうか。

○中村委員

もう1つ質問よろしいでしょうか。また、徳地図書館のことなんですけれども、

ここには令和2年度の取組みとして、④の新型コロナウイルス感染予防対策が書いてあるんですけども、昨年度末から今年度ははじめにかけての各館での取組みというのは、資料として例えば50年先とかうんと先に、同じようなことがあった時に、あの時にはどうしたんだろうかということの参考になると思うので、どこかの県外だったと思うのですがマスクの参考資料としてどのようなマスクが配れたか、そういったものも資料として集めているということを読んだんですけども、それは、今、是非しておくべきことでないかなと思うので、各館で、この期間どういう取組みをなさったかということは、次の世代に伝えるために、記録を残しておいた方がよいと思います。

○中央図書館館長

一応、中央図書館におきましては、コロナ一件という綴りを作って、どういう対策をしたかという1つの綴りを作っております。これは、市の方の動きであって、会議を開いていますね。そういうものを皆綴じています。落ち着いたら、整理して残そうかなと思っております。

○中村委員

ありがとうございます。

○安光会長

「き『お』く」は忘れてしまうけれども、「き『ろ』く」は残っていきますので、やっぱりそれは重要。まあ、SARSの時もどうだったかということ、もう全然覚えていないという、そういう初動体制みたいなのも関わってくるかと思いますので、今こそ始めようという感じですね。

他にになにかご質問等ありますでしょうか。

○國弘委員

これは少しずれるかもしれませんが、コロナの対応で最初の休暇になる時の、次の日から「パタッ」と休館という感じを受けて、で「あっ、残念」と思ったんですよ。10冊全部借りておけば良かったと。2回目はちゃんと1日猶予を持っていたので、そこで行って借りてというかたちで大変助かったんですけども、そういうふうな対応を、もしまたあったとしたらやっていただけると、借りる方としては大変嬉しいなと思います。それと、途中で予約の本を返しに行った時に、本当に消毒を本まできれいに消毒して、貸してくださってるんですよ。ああいう細かな気遣い、本当にありがたいなと思いました。感想です。

○安光会長

ありがとうございます。

○中央図書館館長

図書館の休館については、図書館が決められていないんです。要するに、市の対策本部が明日からやろうっていう、「いや、ちょっとまってよ」っていうのが現状なんですよ。2回目の時は1日ほどあって、ただそれがまたその1日の時に、これもまた人が、1,000人近く来たという。そこで密になるというのもいかなものか

となかなか。言われることは分かるんですけども、なかなか難しい面もあります。そのあたりご理解していただければと思います。

○安光会長

市立図書館の方が予定より早く、県立図書館はそのまま25か26か、少し早められたり、いろいろやっぱり図書館だけでは対応できないところがあるのですね。

○原田委員

私のところは田舎なので、例えば、仮にですよ、明日からとか閉館があるよと言われても、足を運んで本を借りている人も結構いたりして、ネットで予約するという人と、しない年齢層が多いんです。そうするとね、せっかく読む時間があるのに、本に手が届かないというか、そういう声がちらちら私の周りでは耳に入ってきたんですけどね。若い人とかでも、予約したりとかいうのは、すっすっといく、あるいは、あの、何が言いたいかという、足を運んでそこで見るのが楽しみという方たちも結構いて、その人たちはこのたび全部アウトになってしまった。それは、やむを得ないことといえばやむを得ないんだけど、子どももそうだけど、学校図書館もお休み、公立も駄目となったら、せっかく読む時間はあるのに、手が届かないということが。私も足を運ぶのが大儀に、引きこもり老人になりかけてたので、結局自分の家の本棚から、古い昔に読んだ本を引っ張りだしては、読み返すということで、実際には図書館をほとんど利用しなかった。する気にならないというか。そのへんがこういうことが何べんもある訳じゃないけれども、やっぱりそういう情報に疎い、例えば、明日から休館よという予報すら知らなかった人も結構いて、急に図書館休みになって、「私は当てが外れた」という声も私なんかの耳には、入ってきましてね。だから、その辺を市全体でやられたりするからやむを得ないんだけど、読書についても弱者がいるんだなあ、ということを思いました。田舎になればなるほど、あることだと思えます。

○安光会長

はい。どうぞ。

○山口委員

ちょうど、市立早めに始まりまして、県立はそのままだったんですけど、ちょうどその初日に両方の図書館を利用したんですけども、市立は普通な感じだったんですけど、県立の方に関しては、滞在時間1時間とか、初めに住所氏名全部書いて入らなくちゃいけなくて、すごい対応が厳しかったんですよ。係員の人も立ってて。そのへんですごく温度差があるのかなって思いました。対応に対して。

○大野委員

関連しまして、県立ではですね、ネットで予約すれば貸してくれる。中央ではそういうことはあるんでしょうか。

ネットで貸してくれると、便利ですよ。題名をちゃんと書かなきゃ、毎回よく分からないでしょ。それで、1回本を見てから借りようというのが普通なんで、ネットで貸せないんじゃ、やりにくい気持ちもしましたね。まあ、これはいい方法だ

と思いますけれども、利用者にとっては分かりにくいなあ、という気がしましたね。以上です。

○安光会長

いろいろあるかと思いますが、続いてのその他がですね、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」というところですけども、ご用意いただいたものが何かあるんじゃないかと思います。いったん、そちらのその他の方に移らせていただきまして…

○吉村副会長

ちょっと、すみません。そこに行くまでに、この来年度の12ページのところで、2つほど教えていただきたいんですが。阿知須図書館のところは他のところと質が違う感じがして、「利用しやすい環境づくり」と「親切、ていねいな接客対応」、前年度もあります。揚げ足とるようなんですが、それだと「親切、ていねい」じゃない接客対応が現状で、だからという。具体的には、例えば研修とか考えられていますか。たとえば、中央図書館でやってることとか、県立図書館での接客対応、そういうことを見学に行くとか、具体的にはこれは中でちょうど我々が指導するような感じの、具体的なことなんでしょうか。

○安光会長

まず、そこで切って良いですか。親切も加わりましたので、ていねいに加えて。

○阿知須図書館館長

地域間、実はさっき原田先生が言われたようにお年寄りの結構参加があります。1日の居場所として、そうですね、60代後半から70代80代の方々がたくさんいらして、結構、全てネット上でできなかつたり、レファレンスで来られて、いろいろこの本はどこにあるんだろうとか、こういうことを調べて欲しいとか、ちょっと中央図書館とは違うような、状況でございます。職員が朝礼の時なんかで、また今日は来てだろうし、このおばあちゃん、おじいちゃんが来られるから、きっちり対応していこう、ということで中での周知でございます。中でのみんなの意識付けをつけて、今年1年を今まで以上に親切に対応していこうというのを謳っているだけでございますので、それほど難しいことではないです。

○吉村副会長

わかりました。あと1つなんですが、やはり小郡図書館での次年度のことで、それがいるかどうか。さっきちょっと山頭火のことを言われて、他機関との連携で文化資料館等で企画展示されることで、今後の状況によってどうなるか、わからないと思うんですけども、この他機関っていうのは山口市内の、例えば防府さんの資料館とかの山頭火の足跡のところなんかと連携してという意味ではないんですかね。あるいは、山口市もそうですよね。文化資料館にも資料があると思いますが。

○安光会長

では、他機関ということで。

○小郡図書館長

まず、山頭火の関係でいいますと、小郡文化資料館は、多くの資料を所蔵しています。当初は小郡が先行していましたが、現在では、防府市の方が予算をつぎ込んでいるようです。しかし、その中心としてはやはり山頭火案件でしたら中心は文化資料館であり、そこが、山口、また防府と、連携をしております。それに小郡地域ということで、図書館の方が乗っかっているのが現状です。また、山頭火だけでなく他の講座を開いておられれば、図書館の方に連絡をさせていただいて、こちらがそれに関する資料があれば、提供するといったかたちで、文化資料館と連携を取っています。また、先ほど申しあげました鉄道のイベントにしましても、新山口駅にも声を掛けましたし、地域交流センターでも講座を開いていますので、その講座の内容によっては、こちらから声をかけてまた資料を提供するとか各機関と情報を共有して、いろんなところに顔を出していこうと、今考えているところがございます。なかなか、防府の資料館とか山口の資料館に直接ということになるのではないかと思います。地域づくり、人づくり、まちづくりを図書館が中心となり、各機関と連携して、行っていこうと考えているところがございます。

○吉村副会長

わかりました。あと、今のところでこだわるようなんですが、他のところもそうなんですが、地元のところを一生懸命重源もそうなのですけれども、これの広報活動ってどうなってるんでしょうか。実は地元の人にはが地元を知るというコンセプトが、それとも地元の特徴っていうのを広域的に、知らせて来てもらおうってことなのか、そのへんどうなんでしょうか。あの、特に徳地にせよ、小郡にせよ、そうなのですけれども。

○徳地図書館長

毎月ですね、広報誌を発行しておりますので、図書館の情報については必ずそこに毎月情報を提供するとなっております。

○吉村副会長

広報誌は山口市の広報誌ですか？

○徳地図書館長

徳地地域のです。

○安光会長

今の質問は、徳地観光、せまい範囲なのか、そこは知っているけれども、もっと知らないところの人に広報は、どうでしょうか、みたいな感じですかね。

○徳地図書館長

そうですね。市全体への広報には、まだそういったところは今後考えていく。

○安光会長

市報にそういう紙面があるのか、分かりませんが、なんか、せつかくね、それぞれのということかなと。

○吉村副会長

そういうことです。

○中央図書館長

地域に関しましては、各地域に地域づくり協議会というものがございまして、それがそれぞれ広報紙を出しております。もしくは、連合会が出しておるところもあるんですけれども、だいたいそこに図書館の、行事予定を載せてもらっています。

それと、市全体におきましては、ホームページのイベントというところがあるんですけれども、そちらの方に、地域館の方から載せてくれって言われればですね、すぐ載せてますので、そのあたりで対応させていただいてます。

○安光会長

そういうデジタルデバイドの場合、どうするんですかとか、ホームページとか言われても、とか…

○吉村副会長

それと、こんなことを報告しだすと、たぶん夕方になっても終わらなくなると思うので、あれなんですけれども。具体的に、イベントされた時に、どこから来られているのか、ということもアンケートなどで記録はされてるんですかね。ですから、地元で何パーセント、あるいは地元以外から何パーセントとかっていうことが把握できるようになっているんでしょうか。

○安光会長

徳地ばかりになってしまいましたので…

○吉村副会長

あ、いえ、どこでも…

○安光会長

どこでもいっしょですけれども。

○中央図書館長

中央の方は規模が大きいので、そういうのは取っておりませんけれども。肌で感じるところでは、例えば広島から来たっていう方もいらっしゃる訳なんです。「どうやって、図書館に行けばいいのか」とかですね。そういう形ではアンケートまでは取っておりませんが、問い合わせとかで「ああ、結構遠くから来ているんだあ」とか、そういうのは状況的には分かるような現状であります。地域館に関しましては…

○安光会長

あまり無理のない範囲内で少しそういう、どちらからお見えになったか、なんて分かることがあると良いなという程度でよろしいでしょうか。

○吉村副会長

そうですね。それが集計されて、ここの特徴がずっと周りに広がっていけば。今のところはだめですけど、県境またげませんですから。まあ、これが収まってきたころに、こういうふうなこともあればいいのかなって。例えば、毛利博物館なんかやりましたよね。入場券取るとき、どっから来ましたかって訊かれているので。

だから、そういうふうなもっと簡単な、あんまりやりすぎると住所までやると、個人情報があるので。だいたい、山口市とか、宇部市とか、いうふうなぐらいならいいかなと思うんです。そうすると、あとでどの辺の地域かが、あるいは自分が広報したのが、どう広がっているのかがわかって、その先の改良点というのが、分かるんじゃないかなというふうに思ったものですから。

○安光会長

それでは、やはり時間的に申し訳ないのですが、できれば広報はすごく大事なんですけれども、その地域だけなのかもっと広がっていくのかっていうところを、それぞれまたお考えいただければと思います。

それでは、あと争点が2つあります。

コロナ対策の方を、すみません、よろしくお願いします。後ろの方は無ということでおっしゃってということよろしいですか。

○中央図書館長

一応、まずコロナ対策ですけれども、3月は3月5日から3月の27日まで、休館しております。ただし、23日からはですね、臨時窓口という形で27日まで、人事窓口という形をとらさせていただきました。結構1月近い間の休館で、それから、また1回空いたんですけれども、4月は13日から休館いたしまして、5月の17日まで休館でございました。ただし、5月の11日から17日の間に関しましては、臨時窓口という形を取らせていただいております。図書館の方としまして、コロナ期間の状況的にどのようなことをしていたかと申しますと、まず、閉館の時はみなさん来られませんので、ちょっとあのどういうことをしたかという、ただ閉館したとしか申し上げられませんが、開館時につきましては、まず消毒液の設置というのをさせていただいております。それから、厚労省の方からこういう形のポスターをですね、これはもう著作権をもらったというんですね、これを貼ってくれという形でポスターで、これはもういただくことになりました。それから椅子をですね、丸くなるように配置換えをして、人と人とが接しないような形を取らせていただいております。それから、中央図書館におきましては、中庭の開く戸があったり、上に火災の時に風通しを良くするのは、開けさせていただいております。各館に関しましては、それぞれ、中央図書館はあまり窓がないところなんですけれども、各館に関しましては、窓があるところは開けていただいております。それから、密閉された部屋がもしあれば、その密閉された部屋は一応閉鎖してください、というところでございます。中央図書館に関しましては、1番奥にあります共同利用スペースを、閉鎖させていただいて、これは今も続いております。それから、先ほどみなさまの方からありました、俗にいう「IT難民」と言いますか、パソコンが使えない高齢者の方がですね、やはり貸出ができないということに関しましては、私どもも重々分かっております。これに関してはちょっと申し訳ないんですけれども、急にそういう方に知ってもらおうというか1回臨時窓口ができた瞬間に、一回来てもらって、紙書いてもらって提出して、また一回帰って

もらって、2、3日目に受け渡すという、方法を取らざるを得ないのかなというのがあるんですけども、果たしてこれが理解していただけるのかどうかというのをですね、なかなか難しい問題です。こういうことはほんとはパソコンが使えない方に、本をどのように貸出すかっていうのは、どこの図書館もですね、頭をひねっているところだろうと思います。利用される方が二度手間になるというのは、一回紙書いて渡して2～3日後に連絡があったら、また取りに行くということですね、していただけるのであればですね、パソコンが使えない方もですね、本の受け渡し等できると思うんですけど、もしこういうことがあったらですね、そこで試験的にやってみてはどうか、と思っております。それから、雑談でございますけれど、私、このコロナ関係について、結構テレビに出させていただきました。まあ、そういうのは雑談ですけども、結構取材を受けておまして、そうしないときには私の方で、代表者の方に関しましては、予防対策として咳エチケットとか手洗いですとかですね、なるべく図書館の中にはとどまらないで、借りていただいたら自宅で読んでいただきたいというふうをお願いしたりということは、マスコミを通じてさせていただいたりしているというのが、現状でございます。以上です。

○安光会長

それについてのトラブルというのは、どなたかから何かあったとかいうことはありますか。別にトラブルって、感染しましたかっていうのじゃなくて、何かこう「それはちょっと…」というふうなことは別にないですか。

○中央図書館長

みなさん、ある程度ご理解いただいておりますが、先ほどいろいろとITが使えない人の方ですね、その…ひどくは言われませんが、貸出ができないのは、ちょっと寂しいね、ということはかなりいただいております。

○安光会長

他のことはみなさんは、もうなんとなく察してくださっているということですね。それではすみません、どうぞ。

○原田委員

今のに関連してですけど、私が携帯がガラケーなので、スマホで予約というのは…

○中央図書館長

はい、できます。スマートフォンで。

○原田委員

できるんですね。そうしたら、それをもうちょっと周知したら良いかもしれないですね。パソコン使えなくても、結構高齢者でもスマホ使っている人がいるので、その方が分かりやすいかもしれないです。パソコンといたら、ゲームだけの気がする。でも、スマホだったら、遠くにいる子どもたちとのこともあるから、持っている人は結構私の周りにもいるけれど、スマホを通して本の予約ができるのかどうかというのは…。私は自分がガラケーなので。

○中央図書館長

パソコンを通じてという言い方でなく、インターネットを通じてという言い方をしておりますので、スマホでインターネットができるというのが…

○原田委員

その認識がない人がいるんですね。

○中央図書館長

そのあたりを分かっていたら、できるというふうに認識していただければ。

○原田委員

それがね、たぶんつながっていない人が結構いるんですよ。スマホはスマホ、インターネットはパソコン、というふうに結構いるんですよ。

○安光会長

その点ですね、大学では助かっているんですよ。もう、今やそれを言わなくても学生がネットでどうこうするとかですね。だいたい、授業もZ o o mですくらいですから。ただ、公立図書館においては、やはりスマホでと言われてもなかなかというのものもあるかもしれません。そういうこともあるということで、インターネットイコールにならないかもしれませんね。使える人がちょっと見落としちゃうとか、そういうところがあるとか、「使いたい」「当然」みたいに思うとちょっと落とし穴があるかなと、思ったりしております。

○原田委員

もうちょっとしたら、使える層が年齢になりますね。

○安光会長

そうですね、そのうちだいたい全部が使える層になっていくのかな、と思っております。

○吉村副会長

コロナ対策の質問なんですけど、よく大学でもそうなんですけど、濃厚接触者は記録ですよ。例えば、ここにいたら、ここに誰がいたとか、もし私が感染したら、この部屋は危ないと。そういう記録は取れているんですかね、何時何分入館とか。

○中央図書館長

それは図書館の、基本理念の中でそこは今どっちつかずというところもあるんです。中央図書館ではしていません。ただ、他の館では希望者に関しましては、書いた紙を帰りにおいて帰るといふ、そういうことをしてる館もあるように聞いています。

○大野委員

それでですね、県立においてはですね、必ずこれに書いて下さい、とありますね。見たら、入館した時間、退館した時間、氏名、面倒やなど…、カードの番号、連絡先まで、懇切丁寧に書かされるんですね。

○安光会長

それは、まあ、ちょっと、行き過ぎかなと、今、思っておりますけれども…私どももどこかに出かけたら、つけなくちゃいけないというか、どこにいったかというのは本人がある程度はつけていくというような、特に、県外に行くとかその場合にOKのところでもつけなくちゃいけない、というのがありますね。今度は、私ども、そして利用者の方が自分を守るという意味での、行動記録表をつけなくてはなりません。学生にもそれを言っています。そちらを、徹底した方がいいのではないかなと思っています。図書館で入館というよりも、私どもが今日何月何日どこそこに行ったという方が良いのかなと思ったり。その、これは個人的見解です。それを世の中が広めていくという。行動記録は個人でつけましようということです。

○中原委員

今のネットが使えない状況の人に、どうやって本を届けるかというところなんですけれども、私の周りの小学生たちがシリーズ物をどんどん読んでいて、続きを借りたかったけどという声をたくさん聞いて、少しかわいそうだなと思っていたんですけれども、私はまだシステムの勉強をしていないんですけれども、電話予約はできましたでしょうか。

○中央図書館長

電話予約はできません。なぜかと言いますと、電話の場合はどうしても、言った言わないの問題が出てきますので、「私はこれを頼んだのに、違うじゃないか」というように記録が後に残らないんです。ですが、ネットとか紙に書いていただいたものを出すというのは、後で、「確かにそうですね」という形になりますので、電話での予約というのは行っている館というのは、今はほとんど無いと思われまます。全国で見ても、あまり聞いたことはないですね。

○中原委員

なんだか、子どもたち、中学生なんかは続きものの次を読みたいという子が、少しかわいそうだとこのころがあったので、どうしてあげたらいいかなと思ったんですけれども、お父さんお母さんに予約してもらえばいいんじゃない、というの何か少し違うかなと思いましたが、何か対策ができればいいかなというふうに少し思いました。

○安光会長

まだまだ、尽きないとは思いますが、もう一つございます。良いでしょうか。まだコロナ対策の方もいろいろあるかと思っておりますけれども、各館でよく考えてくださっているのではないかと思います。利用者の方も自分自身を守るということで、考えて行動をしているかと思っております。

○安光会長

次に、(2) 山口市内読書活動グループ調査「本のなかまたち」について、前回ご提案のありました中原委員から説明をお願いします。

○中原委員

お時間いただいてありがとうございます。去年、「鉢の子」で「本のなかまたち」

という、市内中心部と南部なのですけれども、どんな読書活動をされているグループがあるかなというのがこの一冊でわかる情報誌を作りました。それは、よそから転入してきた方たち、こういう読書活動が大好きだけれども「山口市に入ってきたけれども、どこに何があるのだろうか、よくわからない」という話を聞きましたので、それを「鉢の子」で作りました。それで、地域交流センターとかに色々置かせていただいたり、本庁のに入ってすぐのところに置かせていただいたところ、すごく好評をいただきました。ということは、やはりこういう情報を求めていた人が多かったのだなということがわかりましたので、図書館のホームページに載せたらどうだろうか、というご提案をさせていただきました。それで、この冊子を作るときは、「冊子にしますよ、載せませんか」というお声掛けで集まった情報なのですけれども、「今度ホームページに載せますけれども良いですか」と言ったら、「それは恥ずかしい」という方たちが、2つ3つありましたので。それとか「載せるならちょっと体裁を格好よくしてくれ」というようなご要望もありましたので、変えたものを、この形にして、事務局に作っていただきました。という情報です。

○安光会長

これは十分にわかりました、すばらしい、今確認させて…

○中原委員

それで、これをホームページに載せるにあたって、どうしましょうかというところを去年の協議会でやったのでその続きです。

○安光会長

その続き、ということで。それでは。

○中央図書館長

一応、中央図書館のホームページの中に、「調べるツール」という場所があります。そこに PDF であげさせていただきたいと。

○中原委員

ありがとうございます。今回コロナ（ウイルス）があったので、この冊子を持っていた方が、ここに載っているところ、文庫のところに行って、子どもを連れて行ったという話を3つ4つ聞いたので、ちょっと役に立ったけど、もうちょっと早くできてたらなとか。

○中央図書館長

一応、今日の協議会の方ですね、そういう提案が出ているということで、データもいただいておりますので、早々に PDF という形で。「調べるツール」というところをぽんと押したら「本のなかまたち」というのが出て、そこをもう一回、PDF というのを、ぽんと押したらこれが出てくる。また、さっきの話、パソコンを持っている、持っていないになりますけど、それをまたペーパーにしてあげたら。それをダウンロードして、プリンターにかけられればという形になる。

○中原委員

ただこれ「鉢の子」ですので、市の中心部と南部ということで、北部が入ってな

いのは、市のホームページに載せるにあたって、何か一言加えていただくというのは、お考えいただければなというふうに思いましたが。

○中央図書館長

そのあたりはですね、何か付け加えということは、文章的なものは、しないのですけれど、図書館協議会、今日の協議会はですね、「本のなかまたち」に北部の方のものを加えるか加えないかという、そういうことを協議するところではないのですが、例えば北部の方からですね、「ちょっとこれも入れてほしい」ということが、その北部の方の図書館協議会の方、要するにここにいらっしゃるメンバーの方から言われれば、載せることはやぶさかではない。ただ、ちょっと申し訳ないですけど、図書館の方からですね、今のマンパワーの中でこちらの方から働きかけて、探し発掘するというのは申し訳ないけどする予定はございません。ただ、皆様の方から「こういう団体があるよ」と言っていたら、データがありますので、打って、またそれをPDFに入れ替えることをやることはそんなに難しいことではないので、それはさせていただきたいと思います。ただ、図書館の中で、「こういう団体がありますよ」とここにバツと持ってこられた場合にですね、あくまでもこれ（本のなかまたち）、図書館協議会の方たちが作っているものですので、それをどうするかということは、ちょっとはばかられるので。この図書館協議会には、各地域間の図書館協議会の方の集まりですので、図書館協議会が終わった後、「こういう意見が出ているのですがどうですか」というかたちで意見を求めて、「それは問題ないですね」というかたちであれば、こちらの方に持ってきていただくことも可能だろうと思います。

○安光会長

当面これを、さっきの「調べるツール」のところアップするということで、ご報告していただいたということでもよろしいでしょうか。あとは北部の問題とか、それから私は気になるのが、加除というか、今の加えていく、やめちゃった段階で、「誰がやるのですか。誰がそれをするのですか。」というのがないとですね、せっかく良いものが上がっても古いデータになっちゃうので、その辺はこれが終わってからのことになりますでしょうか。なんか、だれが主体的に動いていくのかというのが必要になってくる。

○中原委員

載せる期間を1年だけとか2年だけとかっていうのは、この協議会で話すのではなく…

○中央図書館長

協議会が終わった後に。まあメンバーが一緒ですので、協議会とは全然意味が違うので、ここに載せる、載せないっていうのはここで協議することではないので。

まあ、図書館協議会が終わった後に、雑談みたいなかたちでしていただければ、それを吸い上げて、こちらの方で更新をしていくというかたちをとらせていただく。

○安光会長

今のところは、当面これを載せるというところは良いわけですね。あとは、これプラスとかってというのは、またということになってくるかと思います。よろしいでしょうか。

はい。最初から最後までちょっと端折ってというか、スピード感をもってやってみました。何かご質問などありますか。はい。

○中村委員

予算のことについて。送っていただいた（資料の）4ページのところの、6番の「学校図書館支援サービス事業」のところが増額になっていて、主な増減理由として人件費が挙がっているのですが、3月に開催される予定だった協議会の資料の中で、送っていただいた資料の中に「令和2年度のサービス体制について」というのがあって、その中の1番の「人員体制」というところに、「前年度比で3人分の作業時間が減少した」と。結局、人数的には減っている感じがするのですが、予算は増えて、ちょっと私も読み取り方が違うのかもしれないですけど、この人件費が増えていて、全体の作業時間、3人分の作業時間が減ったというのはどういうことなのかなということが質問なのと、もう1つ、その下の「サービスの見直し」というところに、「4月から16時50分以降のレファレンスカウンターが閉鎖。資料複写等も利用ができない。」というふうにあって、どんどんこう新しいことをなさるのとはとても良いことだと思うのですが、なんかちょっとこれってあの…

○中央図書館長

それも含めて説明の方を。

○安光会長

さっきの、最初に「学校図書館支援サービス（事業）」の、人件費アップだけでも、人が減ってるだとか、ちょっとおっしゃたような気がしますけれども、その…

○中央図書館長

全国の話なのですが、まずは臨時嘱託というかたちの雇用形態が、会計年度任用職員というような、そういう形態に全国的に変わったのです。これは働き方改革に係ろうと思うのですが、その中で今までは、要するに月給であったり日当であったりというのが、それが時間給になりまして、ある程度の条件を満たすと夏の一時金・冬の一時金が支給されるようになりますので、それは年間的に、今まででいえば、トータル的には、年収が上がる。ところが、雇用する形態の中で全然変わってきますので、一人ひとりの働く時間というのが短縮になってしまったというのが原因。ちょっとこれ詳しく説明するとかなりの長時間になるのですよ。雇用の形態が変わったので、年収は上がったけれど、働いていただく期間が短くなった、ということで、こういう現状になっております。それから2番目のですね、「サービス体制の見直し」という中で、レファレンスカウンターを使えなくなりますみたいな、これは実行しておりません。これはしない。

○管理担当主幹

やっている。開設しています。

○中村委員

だからこの「サービスの見直し」というのは

○管理担当主幹

3月の時点ではですね、そういう予定にしておったのですが、その後また更に内部で協議をしてですね、サービスが低下しないように、レファレンスカウンターは開けておりますので。

○中村委員

ありがとうございました。

○安光会長

なんかこの前、何月かにお話ししたとき、細かい、私どもの会計年度なんとかなんとか（任用職員）とは違うやり方を、時間給のことをやってらっしゃったので、不思議に「何時何分から何時何分」というような、雇用形態に変わっているようですので、それをこうやり繰りされているような状況です。私どもだったら7時間45分とか言いますが、そういうことでもなさそうな、1日という単位がどうも時間単位のものでして、独特なのか、それが普通なのか、それでこうなかなか。これは良い方に改革になっているのでしょうか、ここじゃなくて国の方に言いたいのですけれども。どういうように

○管理担当主幹

人数がですね、中央図書館では1名減になりました。結局ですね、働く人の権利が、守るといいますか、働きやすくしていく改革になっておりますので。いわゆる時間給の単価が上がりまして、そして我々の予算は、決してそのまま上がるわけではないという状況の中で、工夫をさせていただきながら、それでも図書館には、予算をずいぶん市はつけてくれてはおりますけれども、どうしても1名の減は致し方ないというような状況でございます。先ほど館長が申しましたように、今までフルタイム（7時間45分）働いていた職員が、7時間45分働かすことが、予算的に難しくなってきたという部分もありまして、その時間を短くして、工夫をして、勤務のローテーションを組んでいるというような現状でございます。

○中村委員

よくわかりました。

○安光会長

前は、15日勤務で私どもも、130万（円）で扶養家族の中だったのが、もう出ちゃったということで、130万（円）の中だったら11日勤務くらいになっちゃうというような、これ何の改革だったのかなど。その辺が私には不思議ですがけれども、今はそれで決まっておりますので、いろいろと苦心をされているというところで、よろしいでしょうかね。

ほかに何かございますでしょうか。はい、お願いします。

○中原委員

パスファインダーが中央図書館で始まって、それすごく良い取り組みだなと思っています。「鉢の子」でもやりたかったことなので、パスファインダーを始められて、子どものところなのですけれども、今度の協議会の時に、使っている人が多いとか、良いところとか悪いところとか、それを教えていただけたら嬉しいと思います。

○管理担当主幹

調べ物をするためにですね、そこをクリックして、ホームページで見えていただいたら、例えば「くりまさる」というパスファインダーを作っていた、こうやって調べていくのですよと、子どもさん方が見ていただいて、「こういう調べ方で図書を調べました。これは大人用の本ですけども読んでみましょう。」とか、そういったような調べ学習をするために、そこをご覧いただくと学習が進むといったような、1つ1つのデータを集約しているようなものなのです。調べ学習に使うために見ていただく、といったようなもので、今、特産品とかですね、(そうしたような、)長門峡ですとか、まだ数点ですけど、これも今回のコロナ(ウイルス)対策の間に、職員を総動員してパスファインダーを作りました。

○安光会長

それはアクセス数というのはわかるわけですか。

○中央図書館長

そこだけのアクセス数というのはちょっとわからないです。全体的なアクセス数はわかる。

○安光会長

全体的なというのは。あ、1つ1つは分からないけれど、ホームページ全体…

○中央図書館長

ただ、当館には安井という職員がおりまして、子ども学校支援グループの、感知的に何か分かることがあれば、お伝えすることができるかと思います。例えば。そのことに関してのお問い合わせがあったとかですね、そういう形の状況的なものがあれば、また次回お伝えできればと思います。

○中原委員

あと、広報と使い方のレクチャーというか、それをすごくしっかりしていただけたら、すごく良い取り組みだと思います。

○安光会長

活用されるということですね。次のこともありますので、まだまだ尽きないかとは思いますが、いろいろご質問等々いただきまして、それでは事務局にお返しいたします。

○サービス担当副参事

それではですね。ご連絡のほうを、2、3させていただきますので、まず尾崎のほうから、報酬、旅費口座の方でお知らせをさせていただきます。

○管理担当主幹

本日まで出席の委員のみなさまには報酬等のお支払いをさせていただくことにして

	<p>おります。昨年度登録をいただきました口座に変更がございましたら、また私尾崎の方までですね、連絡をいただけたらと思います。それからですね、第2回目の協議会につきましては、例年通り秋口、10月から11月を予定させていただきたいと思っております。急にお集まりいただきたい事案がでましたら、またご相談を別途させていただきたいと思いますが、現状では2回目は10月から11月ということで、またご連絡を差し上げるということでもよろしくお願いをいたします。以上でございます。</p> <p>○サービス担当副参事 先ほどの件もでございますので、一旦ここでですね、第1回協議会を終了させていただきます。</p> <p>○吉村副会長 要望があるんですけども、今日、今年度になって来たときに、あそこ（出入口）が閉まっているんですけども、それで係の人も良く連絡が行ってなかったみたいで、「わからない」ということで、なので10分前には入れるようにしていただけるとありがたいと思います。</p> <p>○管理担当主幹 大変申し訳ございませんでした。</p> <p>○安光会長 では、以上で一旦終わらせていただきます。どうも、お疲れ様でございました。</p>
	<p>山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040</p>